

第1回 清瀬市行政評価外部評価委員会 会議録

日 時：平成28年8月2日（火）午後6時30分～午後8時15分

場 所：男女共同参画センター 会議室1・2

出席者：①委員10名

伊加田直孝、川島静子、佐藤健二、佐藤拓也、菅井隆弘、鈴木愛梨、谷
富美和、中山雅視、星野泉、三島幸乃
（敬称略、五十音順）

②事務局4名

企画部長、企画課長、企画調整担当職員2名

欠席者：無し

《次第》

1. 開会
2. 本日の進め方
3. 委嘱状の交付・自己紹介
4. 委員会の設置について
5. 委員長・副委員長選任
6. 諮問状の交付
7. 委員会の公開について
8. 行政評価制度について
9. 第2回委員会（評価会）について
10. 清瀬市の財政状況・人口推計について
11. その他

《配布資料》

1. 資料1 平成28年度 清瀬市行政評価外部評価委員会 委員名簿
2. 資料2 清瀬市行政評価実施要綱
清瀬市行政評価外部評価実施要綱
3. 資料3 清瀬市行政評価外部評価委員会傍聴規程
4. 資料4 平成28年度 清瀬市行政評価について
5. 資料5 第2回清瀬市行政評価外部評価委員会（評価会）について
6. 資料6 施策評価シート（外部評価委員会用）
7. 諮問文書（写）
8. 委嘱状
9. 第4次清瀬市長期総合計画

10. 清瀬市の財政状況と人口推計

《審議経過》

1. 開会 事務局が進行。
2. 本日の進め方
 - 次第及び配布資料の確認。
3. 委嘱状の交付・自己紹介
4. 委員会の設置について
 - 資料2のとおり。
5. 委員長・副委員長選任
 - 互選により、委員長は星野泉委員に、副委員長は伊加田直孝委員に決定。
 - 委員長よりあいさつ。
6. 諮問状の交付
 - 事務局による諮問文書の朗読。
7. 委員会の公開について
 - 公開（①市ホームページ等への掲載、②委員会の傍聴）について決定。
8. 行政評価制度について
 - 資料4のとおり。
 - 以下質疑応答。

《副委員長》

施策を評価するということは、例えば「施策 432：商工業の振興」では、商工業者への補助金をどうするかといった、細かい取り組みについて議論するわけではないということか。

《事務局》

そのとおりである。事業一つ一つの予算額の妥当性や事業内容の是非等ではなく、今回は、もう少し大きな枠組みである施策を単位に、その課題や方向性等について議論頂きたい。

《委員長》

事業評価というと、国で実施した事業仕分けのイメージになり、事業を

やめる、やめないといった議論になる。今回は、そのような議論ではなく、施策をどうしていった方がよいのか、といったもう少し大きな話になると思う。

9. 第2回委員会（評価会）について

- 資料5・6のとおり。
- 以下質疑応答。

《委員》

2グループに分かれるということは、担当する施策だけを準備をすればよいのか。

《事務局》

そのとおりである。

《委員》

資料6や計画書を事前に確認し、家族や周りの人の意見を聞いたり、自分が感じたりしたことを次回までにまとめてくるという理解でよいか。

《事務局》

その通りである。

《副委員長》

この外部評価委員会の一番の意義は、市民の皆様が感じることや、家族、友人等の意見を伝えて頂くことにある。それに加えて、もし可能なら、興味があることについて他市の取り組み等を調べて頂くと良い。

《委員》

知り合いに意見を聞いたり、調べたりするには、次回の評価会までの期間が短い。日程について次年度以降に工夫して頂きたい。

《事務局》

次年度改善したい。

10. 清瀬市の財政状況・人口推計について

- 資料「清瀬市の財政状況と人口推計」のとおり。
- 以下質疑応答。

《委員》

歳入額が歳出額より多い理由は、自主財源確保のために実施している市の取り組みは。

《事務局》

市の会計において、歳入額が歳出額を下回ることはない。余った歳入は半分を貯金することが法律で決められており、残りを次年度に繰り越している。自主財源のために、市内で会社等を立ち上げたいという方の創業の支援や、公共施設等の維持管理費について、施設を使っている人がそれを担う受益者負担の考えから、使用料の改定を検討する等、さまざまな取り組みを行っている。

《委員》

人口減少の理由は転出が多いのか、出生より死亡が多いからなのか。転出が多いなら、若い人に転入してもらう用意が必要である。

《事務局》

人口の増減には、転入と転出による社会増減と、出生と死亡による自然増減の二つの要因がある。本市では現在、僅かに社会増であるが、今後は、出生率が低いために、自然減が大きくなり、人口は減少していくことになる。また、社会増減の内容をみると、若い女性の転出傾向がある。

《委員》

若い女性にとって子育てがしづらいまちなのか。

《事務局》

本市の子育て施策は、地域のNPO団体との協働により、他市に比べて充実したものとなっている。子育て施策の他、住宅事情など様々な要因があるのかもしれない。

《委員》

確認だが、今回は細かい議論ではなく、大きな視点で議論するということでよいか。

《事務局》

そのとおりである。施策を単位に評価を行って頂きたい。市役所内部の評価である資料6で記載されたことと異なる意見でも構わない。内部の評価と、外部評価の結果を見て、具体的な手段である事業については、全体の予算額等の制約を考慮した上で、市の方で考えていきたい。

《委員》

配布資料である第4次清瀬市長期総合計画・実行計画の方も事前に目を通した方が良いのか。

《事務局》

そのとおりである。実行計画も39施策が順番に記載されており、施策

の手段である事業や、施策の現状と課題等が掲載されているので、お読み頂きたい。

11. その他

- 次回日程について連絡。

以上